

製造業



単発プレス加工自動化システム



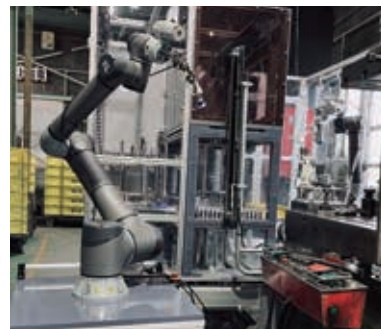
単発プレス加工を自動化するうえでの 多品種・スペース・金型の問題を解決

背景・課題

単発プレス加工では常時プレス機前に作業が必要であり、人手不足や突然の離職者が発生すると生産体制に影響が出ます。一時は人手不足による顧客への安定供給が困難になる場面がありました。顧客へ製品の安定供給を確保するためにも自動化の導入が急務でした。

創意工夫した点・得られた成果・今後の展開

協働ロボットTM14を台車一体型で導入し、スペースを最小化し、金型改造はランドマークで最小限に抑え、汎用設計のワークストッカーで多品種対応しました。ロボットプログラムは自社で習得し、品種追加時のランニングコストを削減。ワークストッカーではカメラ画像処理を活用し、ワークの位置判定とロボットへの位置座標送信で作業効率化。少ないスペースで生産を進める工夫を実現しました。



株式会社大伸

代表取締役 伊藤 大蔵

本社 愛知県刈谷市今岡町西吹戸5-33

